**2020年度第1回介護・障害者部会報告**

日時　2020年10月7日（水）10:00～12:30　　　　会場：日本医療労働会館2階＋Zoom会議室

出席　白沢（障全協）、池田（新婦人）、栗原（全労連）、米沢、寺田（医労連）、　　　（年金者組合）、民谷（福祉保育労）、　　　（保団連）、林（民医連）、小泉（自治労連）、窪田（東京）、根本（神奈川）、小松（愛知）、日下部（大阪）、梅津（共産党）、是枝（事務局）　　　　が出席、　　　がZoom出席

**※会議資料は、中央社保協ＨＰ「会員専用ページ」に掲載**

**＜報告事項＞**

1. 情勢(資料参照)【略】
2. この間の主な取り組み　　運営委員会議題参照

**＜協議事項＞**

1. 介護の提言案についての議論
2. 提言内容の提案説明
3. 協議

* 全額公費負担による制度についての代表委員会での議論の報告
* 「公費方式」への転換を、運動方針・方向性として提起する（ように見えてしまう）ことは、各加盟団体での合意を得ずらい。中央社保協としては一致できるところでの提言とすべき。また、代表委員会団体においては、現時点において全額公費負担制度への転換を方針として掲げてはいない。
* 直面する課題に対する運動の中で、「公費方式」ｖｓ「保険方式」の対立・論争が生まれかねない。
* 医療と介護は、別だとしても、医療保険制度への波及も懸念される。

【協議の結果】

* 現在の介護保険をめぐる状況は「権利侵害」ともいえるもがあり、人権を守る立場からも介護保険制度の改善や抜本改革が必要とされている。そうしたことを踏まえこの改革提言案の意義を伝えていく必要がある。
* 運動提起としても、権利保障の観点からの展開を行うとともに、今後の運動の展望として政府の公的責任を果たさせていく観点からの提起を行っていく。
* 介護におけるジェンダー平等の視点の重要性の指摘も必要。
* 介護保険制度そのものが公共的な役割を持っているからこそ、介護労働者の処遇改善は求められるとともに提供されるサービスの質が担保される必要がある視点から問題点を指摘する。
* 2000年に開始した時と社会状況が変化している。社会的な「中間層」と言われた層から、非正規労働の増加と共に貯蓄もない貧困層の増大へと変化している。年金制度の改悪など高齢者の貧困化も進んでいる中で、今後の介護保険制度の改善・改革の意義は大きい。
* 政府のICT化の推進など介護分野にも適用されようとしているが、IT技術の進歩を受けても人と人との関係での介護サービス提供の「人員配置基準」は一層充実させていく必要があることの指摘も必要だ。そもそも現在の配置基準そのものが低い。
* 改善、改革内容についても意見交換があり検討を行うとともに、抜本改革案⇒緊急改革案の順に提起していくこととなった。

1. 「提言案」としての最終のとりまとめへむけての段取りなど

* 10月27日(午前)介護政策事務局チーム会議で議論し、27日夕刻の代表委員会、30日(金)介護障害者部会、11月4日(水)運営委員会で議論を行っていき、成案としていく予定。

1. 今後の取り組みについて
2. 2020年「介護・認知症なんでも無料電話相談」について

※2020年「介護・認知症なんでも無料電話相談」実施要綱(Ver3)

* コロナ禍の下で困難を抱え、相談先を待っている人は増加することが予想されるので、改めて各県社保協で11月11日に相談窓口設置の検討を要請する
* 11月11日(水)　10時～18時　メイン会場：ラパスホール(コロナ対策で会場変更)
* 全日本民医連と東京民医連のルート、東京自治労連ルート等で相談員の参加要請へ入っている
* 中央としては、NHKなど報道機関へのアプローチを強めつつ、各団体内での広報の強化を要請している。いくつかの組合では、訪問時に好反応あり。

NHK＝10月20日(火)午前11時から懇談　　家族の会・大野さんと一緒に。

　　　　各報道機関への投げ込み、アプローチの強化を中央としても行う

* 都道府県社保協の参加を増やす・・・鹿児島が実施決定

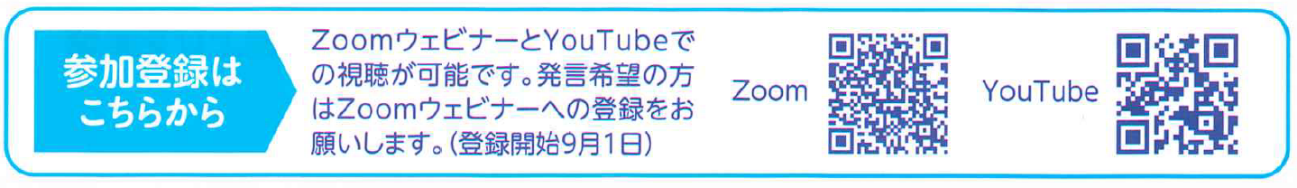
1. 介護ウエーブ月間について

* 2020年介護全国学習交流集会
* 集会実行委員会報告

開催日時・場所：10月25日（日）13時～16時30分

場所：全労連会館2階ホール(60人位に制限)＋Zoom

メイン講師：井口克郎先生(神戸大学)

※会場参加希望者は中央社保協事務局までご連絡を下さい。ZoomとYouTubeでの視聴参加については、チラシまたは以下のQRコードから登録を行って下さい。

* 社保協サイドの対応

会場への参加は約60人と制限されているためについては、首都圏中心に希望する社保協とし、基本はZoomとYouTubeでの視聴参加とします。

主催者挨拶　　代表委員会メンバーで調整

発言1人について⇒（千葉県社保協で確定・・・加藤さん）

* 参加の呼びかけの強化をお願いします

　　　社保協ルートでも、各加盟団体訪問で口頭含めて紹介をしていっている。

各県社保協、団体で、ZoomとYouTubeでの視聴での参加者増を呼びかける。

* 宣伝行動・・・介護分野の宣伝として位置づける

署名宣伝行動　　11月14日(土)12：00～13：00　巣鴨駅前

1. 2020年介護署名

* 各団体での取り組みの強化を行う。
* 昨年協力していただいた団体にも再度協力を呼びかけていく。
* 呼びかける内容・・・署名の推進、署名提出行動の共同や参加、連帯行動など
* 呼びかけ対象…21老福連、家族の会、ＭＣＷ、市民の会

　　　　　　　日本社会連帯機構が署名協力確認。

* 署名提出行動　　12月、2月　　具体の日程、内容は3者で調整し呼びかける

1. 介護報酬改定や第8期介護保険事業計画への対応

* 各市町村への運動としては、新型コロナ第2波に向けた具体的対応を迫りつつ、それらを踏まえて第8期事業計画へ反映する運動を行っていく。
* 大阪社保協からの「第8期介護保険事業計画に向けた要求・提言活動について」が提起され、各県社保協でも参考にして活動を強化していく。
* 北海道社保協の学習会の日下部さんのレジメ

〇講演の動画

　　　Ｚｏｏｍでの録画を視聴できるＵＲＬです。

https://zoom.us/rec/share/xtZJIpf11EFOZq\_xxHvxAPEhP4bgT6a8gSMaq6dfyNVPjuR2gWNchm953rt01tw

\*パスワードは、下記の (Access Password: $X\*EKD9z) を使用してください。

　　　　※大阪社保協での取り組みを参考に各県でも取り組みを強化していく。

1. 改めて、介護分野での共同の広がりをつくるために

* 中央社保協のスタンスについては、この間の各団体との懇談を踏まえ、より柔軟な対応をしていくことを基本とし、課題毎での協力関係を進めていく。
* この国のあり方と社会保障制度を考える 「講演会」　　別紙チラシ(市民の会作成)

日時：11月7日(土)14：00～16：00　　会場：日本労協連・会議室

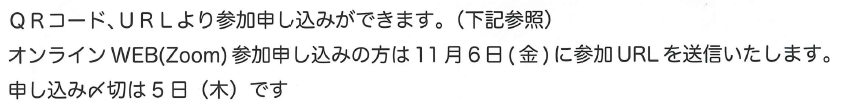
主催：守ろう！介護保険制度・市民の会/ＭＣＷ（医療・介護・福祉の会）

/ 中央社会保障推進協議会

講演：コロナ禍後の日本の課題～ 誰もが生きられる社会へ ～

講師：東京外国語大学・名誉教授　西谷 修氏

参加方法：会場参加、Web参加　　要事前申込



<https://forms.gle/v2P6AtMNmMgSqkPw7>

* 今後「学習会ののち共同したアクションが必要だ」との認識も出されているので、実現のため一致点での行動を模索していく

　12月署名提出行動での連携はできないか、要望書を共同で提出できないか、等々

　　　　※11月7日(土)学習会には、社保協サイドからも多数の参加をお願いしたい

1. 社会保障誌

* 直近の秋号でNPO法人暮らしネット・えん小島氏が登場⇒保団連の集会へつながる
* 11月7日学習会の報告で、守ろう！介護保険制度・市民の会の登場を検討
* 認知症関連での短期連載を予定、認知症の人と家族の会との相談も行う

　　　　　　　　第1回目(2020年3月春号)

　　　　　　　　第2回目(2020年5月初夏号)

　　　　　　　　第3回目(2020年7月夏号)

◎次回会議日程…2020年10月30日(金)17**時30分**～19時

会場：医療労働会館中央社保協事務所＋Zoom

　　　　　　　　※午前に部会が開催される日の運営委員会は13時30分開始